

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ふれあいの家 到津

目標達成計画書

作成日: 平成 25 年 12 月 05 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	年2回の避難訓練を実施し、利用者が安全に避難出来る体制を整えているが、丘の上に事業所がある為、救援体制を見直し、夜勤者1人で9人の利用者を救出することの困難さを実感し、体制を検討していく。	いざという時に備え、消防署に避難訓練の参加を得、助言をもらい、近隣住民と日常的に交流し、災害時の協力体制を築き、非番の職員との連携体制を確保し、利用者が安全に安心して、避難出来る体制を確立していく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出の支援	事業所が丘の上にあり、利用者が、坂道を歩いて散歩するのは困難であり、敷地内の散歩や、車で個別のドライブ等に出掛けているが、利用者が戸外に出掛けることで、生きがいのある暮らしに繋がる支援をしていく。	利用者の自立や身体機能維持を目指し、散歩することの意義を職員全員が理解し、職員の頑張りで、利用者の生きがいと、気分転換に繋がる外出の支援に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。